

質問事項	質問の要旨
1 教育について	<p data-bbox="644 398 1394 589"> どうして勉強しなければならないのか。大抵の子どもたちは勉強が好きではないようです。私自身の体験を振り返ってみても、極少数です。 </p> <p data-bbox="644 622 1394 969"> 生存競争のこの時代を生きるための、力を養うためにあるというのが一つの答えです。生きる力（生き抜く力）のかん養ということです。学校というツールを使って、次世代へと受けついでいくということだと考えます。 </p> <p data-bbox="644 1003 1394 1261"> 生きる力、様々考えられますが、学力と人間関係論的な基ではないでしょうか。基礎学力といじめに負けない胆力のかん養と考えますが、次の点について伺います。 </p> <p data-bbox="644 1305 1394 1417"> (1) 大震災以降の全国学力テスト、県学力学習調査の推移を示してください。 </p> <p data-bbox="644 1462 1394 1574"> (2) 分析後どのように対処し、成果がどのようになっているか。 </p> <p data-bbox="644 1619 1394 1798"> (3) 前定例会で、学力不振状況と不登校の多い状況を報告されて、多くの町民の方々はショックを受けています。 </p> <p data-bbox="644 1843 1394 1955"> 震災後、間もなく4年になります。子どもたちの一挙手一投足から元気をもらっています。 </p>

質問事項	質問の要旨
2 原発について	地域の宝を何としても本物の宝物にしたいと町
	民全員が希望しています。
	学力向上のためなら、貴重な税金を投入して
	も良いと思われるので、今現在の子ども貧困率
	の状況を分かる範囲で示して下さい。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)
	平成7年の6月定例会での一般質問で「原発の大
	命題は安全です」から私自身の議員活動が始まりま
	した。
	平成23年3月11日、大震災が有り、過酷事故が起
	こりました。
	しかし、やはり原発は絶対(?)安全であるべきだ
	という信念は変わりありません。国の組織替えて規
制委員会になりましたが、その長も疑念付きの絶対	
安全と言っています。	
2月19日の河北新報の1面で、再稼働で町民が揺	
れているアンケートが目に入りました。	
本町は原発立地町でありますし、原発城下町でも	
あります。本町が単独でやっていこうとすれば、ど	
のようなまちづくりが展開できるか、提案すべきも	

質問事項	質問の要旨
	<p>のがありません。</p> <p>“小さくともキラリと輝くまち”復興のその先にある姿はどのようなものになるのでしょうか。そこまで考えて再稼働を決めたいものです。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 大自然対策と人的対策で安全は万全か。(震度7の地震、大津波、活断層、竜巻、火山、隕石、テロ、ヒューマンエラー等々)</p> <p>(2) 漠然とした安心できない気持ち対策は。</p> <p>(3) 国策(エネルギー対策)に協力しないための財政のペナルティーはあるのか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>